

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 013	提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会
要望問題名 神奈川県に適したシャインマスカットの栽培方法等について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 県内ブドウ生産者のほとんどがシャインマスカットを栽培している。 販売は直売が主体であり、食味や食感を重視し、そのレベルを保った上で、粒の大きさや粒の数について生産者が試行錯誤している状況である。 そのため、神奈川県に適したシャインマスカットの栽培について引き続き研究をお願いしたい。 また、黒とう病の発生は、従来品種の藤稔でも発生していたが、シャインマスカットを栽培するようになると、新梢、葉、果粒に発生が目立ち、従来どおりの防除が困難になってきた。 そこで、当該病害に有効な農薬の選定と組み合わせを考慮した防除体制について研究を要望したい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課、生産環境部病害虫研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) I かながわらしい地産地消を推進するための技術開発 2 消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発 (3) 落葉果樹の高品質・安定生産技術の開発 ウ 直売向けブドウ新品種の安定生産技術の確立 (7) シャインマスカットにおける適正果房重の検討		
対応の内容等	これまで‘シャインマスカット’については、生育期の摘心による高品質化(平成26年度成果)、省力化と新規商材開発を目指した小房栽培(平成28年度～令和2年度)に取り組んできました。さらに、令和2年度からは上記試験研究改題の中で、房重と糖度・十粒重などの関係から本県に適した適正果房重について検討しており、引き続き実施していく予定です。 黒とう病の防除に関する試験については、既に山梨県、長野県などで行われています。県内においても黒とう病対策を強化した防除暦を各生産者部会等で使用し始めており、暦の薬剤・散布時期については、毎年検討・変更を行っています(令和3年度の黒とう病対策のための暦の変更点:4月下旬にオーソサイド水和剤80を追加、6月上旬にカナメフロアブルを追加)。防除暦の検討にあたっては、他県の試験成績、防除薬剤等について、情報提供します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	ブドウ黒とう病に効果の高い防除体系(山梨県平成25年度成果情報) ブドウ黒とう病の発芽前防除(長野県平成30年度成果情報) ブドウ黒とう病の生育期防除、欧州系ブドウ品種防除体系の主要病害に対する防除効果(長野県令和2年度成果情報)		